

三勲小だより

令和3年1月12日（火）



< 1月6日（水）3学期始業式の校長の話（校内放送） >

おはようございます。今日は令和3年になって初めてみんなが学校に来た日です。新しい年のごあいさつを、大きな声を出さずに心の中で一緒に言いましょ。 「明けましておめでとうございます。」

今日から3学期が始まります。まだ新型コロナウイルス感染症は収まっていないので、「体温を測る」「マスクを付ける」「手を洗う」「悪口を言わない」の「た・ま・て・わ」はしっかり続けましょ。

さて、「玉手箱」といえば、本当は、浦島太郎が竜宮城の乙姫様からもらって帰って、開けたら煙が出ておじいさんになってしまうというお話に出てくるものですね。でも、去年の12月頃から話題になっているもう一つの「リュウグウ」や「玉手箱」があるのですが、知っていますか。知っている人は手を挙げてみましょ。放送室からは見えないけれど、今手を挙げている人はよくニュースを見ている人が宇宙が好きな人ではないでしょうか。

今から6年前、1年生の人が1歳、6年生が幼稚園か保育園の年長の時に、「はやぶさ2」という探査機をのせたロケットが打ち上げられました。（打ち上げの写真）地球を一周した後、「はやぶさ2」はロケットから離れ（「はやぶさ2」の写真）6年間52億キロの旅をして、ちょうど1ヶ月前の12月6日に地球に帰ってきたのです。この旅の中で「はやぶさ2」は小惑星（小さい星）に着陸しました。（着陸の写真）この星の名前が「リュウグウ」という名前でした。星にはクレーターと呼ばれる丸いくぼみがありますが、因みにこの「リュウグウ」のクレーターにはこんな名前が付けられています。（「モモタロウクレーター」「キンタロウクレーター」「ウラシマクレーター」「キビダンゴクレーター」）面白いでしょう。そして、「はやぶさ2」はこの星の砂や石を取ってカプセルに入れて地球に届けてくれたのです。砂や石を取った後にもくぼみができますね。そのくぼみには後でこんな名前が付けられました。（「おむすびころりんクレーター」！）このカプセルに入っている砂や石はとても大切なものなので、これが入っているカプセルは「玉手箱」と呼ばれています。（カプセルの中の写真）黒い砂や石が見えるでしょう。じつはこれは地球ができる前のものである可能性が高いのです。ですからこの「玉手箱」に入っている砂や石を調べるとどうやって太陽系ができたのか、私たちのような生き物ができたのかが分かるのではないかとされているのです。これは宇宙の始まりや命の始まりについての大発見につながることで、今多くの人によって研究が進められています。

このように星に行って着陸し、そこにあるものを地球に持ち帰るということは、世界で誰も成功したことがないことでした。「はやぶさ2」の前には「はやぶさ」によるチャレンジもあったのですが、うまく着地ができないなどいろいろな失敗やトラブルがあり、それらを乗り越えて今回の成功があったのです。

今日「はやぶさ2」のお話をしたのは、いろいろな人が協力して何年もの間、挑戦を続け、失敗を重ねながらついに成功をつかみとり、夢を実現したということの素晴らしさを皆さんに伝えたかったからです。皆さんには夢がありますか。新しい年の始まりに当たって、将来の仕事だけでなく、こんな人になりたいなとか、こんなことができるようになりたいなとか、これからの自分の姿を思い描いてみましょ。子どもの時から、夢やなりたい姿に向かって、今、何をすべきかしっかりと考え行動していくことで、夢が叶ったり、なりたい自分になったりすることができるのです。今日から始まる3学期は勉強も生活も今の学年のまとめをする時です。特に6年生は小学校6年間の総仕上げをしなくてははいけませんね。「はやぶさ2」で夢を実現させた研究者のように、めあてをもって、なりたい自分の姿を思い描きながら一日一日を大切に過ごしてほしいと思っています。

学校は楽しいところです。そして、楽しさをつくることです。自分も友達も楽しい学校にするために、校長先生がいつもお話ししている優しさや思いやりも大切にしながら夢に向かって頑張りましょ。

